

2018年10月から2021年12月までのスペクトル解析結果と考察等
(関口孝志)

2018年10月から2021年12月までの3256個のスペクトル解析結果です。グラフは、カメラ10台の補正なしのピーク比です。Feが40%以上の流星とNa richとNa enhancedとIronsの流星の殆どが散在流星になっています。2021年2月までの分布とあまり変わりませんでした。のVGとNA/MG (LOG) の関係とVgとO/Mg (Log) の関係とTJとiの関係とqとQの関係等を詳しくタイプ別や群別で調べてみました。